

平成 30 年 10 月 24 日

～木への理解を深めるために～

友好都市である栃木県鹿沼市から 「鹿沼産森林認証材」で製作したベンチ 3 基の寄贈を受ける！

このほど、墨田区は、友好都市である栃木県鹿沼市（鹿沼市今宮 1 6 8 8 - 1・鹿沼市役所）から、「鹿沼産森林認証材」で製作したベンチ 3 基の寄贈を受けた。

この寄贈は、区が平成 23 年から行っている、鹿沼市や鹿沼市内の林業業者の協力を得て、子どもたちに植林や間伐作業体験をしてもらう「森林整備体験事業」によるつながりから実現したものだ。今回の寄贈は、森林の持つ公益性を周知するとともに、木に対する親しみや木材利用促進への理解を深めることにより、森作りに貢献する人の育成を目指す「木育」推進の一環として行われた。

寄贈されたベンチは、寺島保育園（東向島 1 - 2 3 - 1 0）に 1 基、スポーツプラザ梅若（墨田 1 - 4 - 4）に 2 基、施設の入り口などに設置し、地域の憩いの場として園児やその保護者など、多くの方々に親しまれている。



<鹿沼市について>

栃木県の中央部に位置し、市の約 7 割が森林で覆われており、奥深い山々と、それを源流とする多くの河川によって、「花と緑と清流のまち」が形成されている。そうした自然の恵み豊かな環境から生まれる木工製品や農産品が特産品となっている。

<鹿沼産森林認証材について>

「緑の循環認証会議（SGEC）」による森林認証を取得。適正管理の森林から出荷、製品加工・流通までの工程管理を高いレベルで維持できる。新国立競技場の大屋根と外周部に使用される。

<墨田区の友好都市交流について>

墨田区では、平成 8 年以降、「長野県小布施町」、「山形県鶴岡市」、「栃木県鹿沼市」の三都市と友好協定を締結し、それぞれの都市が持つ特性を活かして、文化・教育・スポーツ・防災等幅広い分野で交流を行っている。小布施町（平成 8 年 5 月締結）は、葛飾北斎ゆかりの地という共通性を持っている。鶴岡市（平成 9 年 7 月、当時の朝日村と締結）とは、自然や歴史等の地域特性を活かし「わんぱく天国“わんぱく雪まつり”」への雪の提供、少年サッカー交流などを行っている。鹿沼市（平成 24 年 10 月締結）とは、昭和 53 年に校外宿泊施設“あわの自然学園”開園以来、交流を続けている。いずれの都市も“すみだまつり物産展”に出展をしており、墨田区民にとっては、なじみ深い地域ばかり。